

科目名	授業時数	教科書名	副教材名
中学2年 音楽	2	中学生の音楽2・3上(教育芸術社) 中学生の器楽(教育芸術社)	コーラス フェスティバル(正進社) プリント他

1. 授業の目標

- ・歌唱、器楽、鑑賞を通して「芸術としての音楽」を体験し、音楽を愛好する心情を育てます。
- ・歌唱や器楽では音楽の基礎的な表現の技能を身につけ、創意工夫された自己表現力を養います。
- ・鑑賞ではその美しさを体得し感受性を豊かにするなど、幅広く主体的に鑑賞する能力を高めます。
- ・国際社会に通じる日本と世界の音楽を学習し、国際理解を深めます。
- ・実技テストや鑑賞指導により感受性や表現力の可能性を引き出し、音楽の持つ美しさやその多様性を感得することを目標とします。

2. 授業のすすめ方

- ・授業内容に応じて、一斉指導、グループ指導、個別指導、自主的学習を組み合わせた授業を展開します。
- ・ICT教育に際しては、iPadや電子黒板を適宜利用して授業を展開します。

3. 学習上の留意点

- ・授業中、鑑賞中、演奏中において「聞く(聴く)」ことに集中する。
- ・自ら音楽を実践(演奏)すること。
- ・積極的に授業に参加し、音を楽しむ心を大事にすること。
- ・提出物の期限は遵守すること。
- ・授業には必ず教科書、クリアファイル、筆記用具、iPadを持参すること。
- ・遅刻はしない。時間に余裕を持ち行動すること。遅刻をした場合は減点とする。
- ・音楽室の備品を大切に扱う。許可なく勝手に触れないこと。

4. 副教材・参考書

- ・単元に合わせたプリントを配布、配信します。
- ・合唱の授業を中心に「コーラス フェスティバル」を使用します。

5. 評価方法

- ①実技テスト(歌唱、器楽)での積極的な態度と、音楽的であり創意工夫された表現力を発揮できたか。
 - ②鑑賞においては、その楽曲の構成や歴史的な背景に興味を持ち、適切な感想を書くことができたか。
 - ③真摯な授業態度であるか。(話を聞く姿勢、提出物期限の遵守、忘れ物をしない、遅刻をしない等)
- 上記3点の評価の合計点が成績となります。

6. 定期考査

実施しません。

7. 授業計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	四月	1. 歌唱・合唱 ○「やさしさに包まれたなら」(荒井由実 作曲) ・作曲者の思いや歌詞の意味 ・日本語の発音と発声方法	○歌唱 ・大きな声で歌えているか。 ・音程が正確に取れているか。	1. 関心・意欲をもって授業に取り組む ・積極的に授業に取り組む。 ・真摯な姿勢で話を聞く。
	五月	○「夢の世界を」(橋本祥路 作曲) ・歌詞の意味と楽曲形式 ・場面転換による曲想の違い	・歌詞を正確な発音で歌えているか。	2. 芸術的な感受や表現を工夫する
	六月	2. 鑑賞 ○「フーガ ト短調」(J.S. バッハ作曲) ・作曲者、楽曲の形式、時代背景 ・パイプオルガンについて	・曲想に合った歌唱表現をしているか。 ・美しい発声法で歌えているか。	・楽曲形式を理解する。 ・音楽発想記号を身につけ表現できる。
	七月	○「ボレロ」(ラヴェル作曲) ・オーケストラの響きと登場楽器の音色 ・リズムの特徴 3. 器楽創作 ○iPad アプリ「GarageBand」 ・リズム、メロディー、ハーモニー(音楽の三要素)	・実技テストの実施 ○器楽 ・記譜通りの演奏ができているか。 ・曲想に合った表現ができているか。	・創作課題を自由に発想し工夫できる。
二 学 期	九月	1. 歌唱・合唱 ○「夏の思い出」(中田喜直 作曲) ・作詞者の思いや作曲背景について ・日本語の発音と発声法	・形式を理解して演奏することができているか。	3. 創造的な表現の技能を養う ・意欲を持って実技試験に臨んでいる。
	十月	○「時の旅人」(橋本祥路 作曲) ・混声三部合唱の音作り、旋律のまとまりと表現 ・パート(声部)の役割と練習	・実技テストの実施	・無理のない発声法で歌うことができる。 ・正確な音程や美しい発音で歌うことができる。
	十一月	2. 鑑賞 ○「交響曲 第5番 ハ短調」(ベートーヴェン作曲) ・作曲者、楽曲形式、時代背景 ・オーケストラの演奏や指揮法	○鑑賞 ・楽曲形式などに関心を持ち鑑賞しているか。 ・楽器の音色の違いが聴取できているか。	・楽曲形式を踏まえた表現ができる。 ・記譜上の発想記号や強弱記号を意識できる。
	十二月	○歌劇「アイダ」、歌舞伎「勸進帳」 ・歌劇(オペラ)と歌舞伎の比較 ・作品構成と時代背景 3. 器楽 ○教科書「中学生の器楽」などから ・リコーダーの運指 ・アーティキュレーションとフレージング	・楽曲に関する作品背景や歴史的・民族的・社会的意味について関心を持つことができているか。	・音楽表現が自発的にできる。
三 学 期	一月	1. 歌唱・合唱 ○「サンタ・ルチア」とナポリ民謡 ・イタリア歌曲(カンツォーネ)の特徴 ・歌詞の意味と楽曲形式	・感想文の提出	4. 鑑賞の能力 ・楽曲に対し、楽曲そのものや、その音色、演奏形態、形式などに注目して聴くことができる。
	二月	○「大切なもの」(山崎朋子 作曲) ・混声三部合唱の音作り、旋律のまとまりと表現 ・パート(声部)の役割と練習	○創作 ・課題を自由に発想し工夫できているか。 ・音楽の三要素による組み合わせを意識できているか。	・楽曲に関する作品背景や歴史的、民族的、社会的意味について関心を持つことができる。
	三月	2. 鑑賞 ○組曲「展覧会の絵」(ムソルグスキー作曲) ・作曲者、楽曲の形式、時代背景について ・ピアノとオーケストラの演奏の比較	・作品の提出	・自己のイメージを最大限に膨らませることができる。